第 39 回日本ハンドセラピィ学会学術集会抄録原稿作成の手引き

【概要】

本手引きは，第 39 回日本ハンドセラピィ学会学術集会の抄録原稿作成に関するご案内です.

下記の内容を熟読のうえ，作成・投稿してください.

【投稿手順】

1. ユーザー登録を行ってください.
2. ユーザーホーム画面の「演題登録ボタン」より演題登録を行ってください.
   ※登録されたユーザーアカウントは学術集会参加登録時にも使用します.

【演題情報の入力】

文字数は以下をご参照ください.

超過した場合，抄録に掲載できず査読対象外となりますのでご注意ください.

和文タイトル	全角 66 文字以内
英文タイトル	22 Words 数以内
要旨	全角 400 文字以内
本文	全角 1000 文字以内

【演題名の入力】

1. 演題名は，和文タイトルと英文タイトルの両方を記載してください.
2. タイトルに副題を入れる場合は，副題込みで和文タイトルは全角 66 文字以内、英文タイトルは 22 Words 以内とし，その両端に~~全角マイナス「－」~~半角マイナス「-」をつけてください.
3. 英文タイトルは，タイトルとサブタイトルの最初の単語の頭文字を大文字にしてください.
4. 英文タイトルでは，接続詞や冠詞を除き，他の単語の頭文字を大文字にしてください.
5. 英文タイトルの最後にはピリオド「.」を付けないでください.
   （例）Early Active Mobilization after Flexor Tendon Repair－A Systematic Review－

【要旨・本文の入力】

1. 句読点は，全角カンマ「,」と全角ピリオド「.」に統一してください.
2. 英数字は半角に統一してください.
3. 囲み文字，ローマ数字，単位記号，略語記号は使用せず，半角英数字などで代用してください.
4. 原稿は常用漢字，新仮名づかい，新医学用語を用い，「整形外科用語集」および「手外科用語集」に準じて作成してください.

〇要旨

発表内容を簡潔的に 400 文字以内でまとめて記載してください.

〇本文

- 【緒言】,【目的】,【方法】,【結果】,【考察】など，内容に応じた小見出しを付けてください.
- 2 つの小見出しを 1 つにする場合は【対象・方法】のように中点「・」を使用してください.
- 小見出しの直後に改行せず本文を続けて入力してください.
- 次の小見出しの書き始めは必ず改行し，小見出しをすべて左端に揃えてください.
- 本文中に図表は挿入しないでください.
- 研究倫理委員会で承認を受けている場合は，承認番号を記載してください．承認を受けていない場合は，対象者へのインフォームドコンセントの方法などを明記してください.

【発表形式の選択】

「口述発表」もしくは「ポスター発表」のいずれかを選択してください.

【著者情報の入力】

1. 筆頭著者は，日本ハンドセラピィ学会会員に限ります.
2. 著者数は，筆頭著者を含め最大 5 名（筆頭著者 1 名＋共同著者 4 名）までとしてください.
3. 氏名の後ろに OTR，RPT，MD などの肩書は付けないでください.
4. 筆頭著者は，必ず日本ハンドセラピィ学会の会員番号を入力してください.
5. 非会員で発表を希望される方は，必ず会員手続きを完了のうえ応募してください.
6. 共同著者は，本学会会員である必要はありません.

【所属先情報の入力】

1. 所属先は最大 5 施設までとしてください.
2. 部署まで記載してください．所属先と部署名の間にスペースは入れないでください.
   （例）●●大学病院整形外科

【Key Words の入力】

1. Key Words は必ず 3 つ（第 1 Key Word を含む）入力してください.
2. 第 1 Key Word は下記から選択し，第 2・3 Key Word は自由記載（入力必須）としてください.

第 1 Key Word	備　考
骨折	橈骨遠位端骨折，指骨折，その他の骨折
軟部組織損傷	外傷性末梢神経損傷，腱損傷，靱帯損傷，その他
複合組織損傷	切断肢（指）再接着，その他
絞扼性神経障害	手根管症候群，肘部管症候群，その他
炎症性疾患	関節リウマチ，狭窄性腱鞘炎，上腕骨外側上顆炎，その他
評価	機能評価
基礎研究	バイオメカニクス，運動生理学，神経生理学
スプリント	スプリント，義肢装具
実践報告	症例報告